



11TH Infantry Regiment おじろわし

【発行所】
普通科友の会

【協力】
第11普通科連隊
第1科広報班

【印刷所】
(株)フロンティア印刷

- (第1面) 「新年のご挨拶 (宮内連隊長)」
- (第2・3面) 「新年のご挨拶 (協力団体の皆様)」
- (第4面) 「第2中隊訓練検閲」「第4中隊訓練検閲」「平成29年度連隊武道競技会(銃剣道の部)」
- (第5面) 「戦闘射撃競技会」「平成29年度総合戦闘射撃」
- (第6面) 「平成29年度千歳市総合防災訓練」「協同基地警備訓練」「平成29年度師団第2次集中野営」「第37期レンジャー養成教育帰還行事」
- (第7面) 「平成29年度11旅団普通科戦闘射撃競技会」「連隊年末行事」「定期昇任」「定年退官者紹介」
- (第8面) 「千歳機甲太鼓部30周年記念祝賀会」「2017日本拳法全道団体選手権大会4連覇」「第16回北海道自衛隊拳法選手権大会準優勝」「普通科友の会パークゴルフ大会」

連隊行事予定

- 【1月】
 - ・6中隊・衛生小隊・補給小隊訓練検閲
 - ・予備自衛官招集訓練
- 【2月】
 - ・ホルメンコーレン大会支援
- 【3月】
 - ・バイアスロン日本選手権
 - ・全自衛隊拳法選手権

第三十二代 第十一普通科連隊長

一等陸佐

宮内 雅也



新年明けましておめでとうございます。連隊の隊員諸官、隊員ご家族の皆様、そして日頃から連隊へのご支援ご協力を賜っております関係協力諸団体の皆様にとり、本年が希望に満ちた一年でありますようご祈念申し上げます。

さて、今年は戌年ですが、十干十二支で言えば戌戌(つちのえいぬ)になります。干支は古く陰陽五行(木、火、土、金、水)の考えから成り立っていますが、「戌(つちのえ)」「戌(いぬ)」はともに「土」の性質を意味します。五行の考え方からは、「土」は「万物を育成し保護する性質」のほか、「四季の移り変わりの象徴」とあります。また「戌」は「茂」が語源で「草木が繁盛して盛大になる」こと、「戌」は本来「滅」につながる漢字であり「草木が枯れる状態」を意味します。すなわち、「戌戌」には枯れるという側面と生い茂るといふ側面があります。すなわち、一方が枯れて一方が盛大になるといふ、四季の移り変わりの象徴にあるよう、「変化」を意味しています。

加えて、「戌戌」がともに「土」の性質を表すように、干支がともに同じ性質になることを「比和」といい「勢いが増す」ことを意味します。土の性質は「変化」です。「戌戌」は土(変化)が「比和」しており、変化の勢いが増すということです。これは進化と言っても過言ではないかもしれませぬ。一方で「進化」の過程のためには、単に環境に順応するのではなく、努力と挑戦、そのための勇気、特に固定概念を捨ててより自らが高みを目指そうとする勇気が必要で、第十一普通科連隊として、これまで以上に勇気をもって高みを目指し進化していけるよう連隊一丸となって邁進する所存です。

最後に千歳市民及び協力諸団体の皆様並びに隊員ご家族の皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



挨拶

道央地区
自衛隊協力会連合会
千歳地方防衛協会会長
千歳市長
山口 幸太郎



第十一普通科連隊の皆様、新年おめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春を皆様とともに迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

また、旧年中は、当協会の事業推進にご支援とご協力を賜りますとともに、当市の警備隊に担当部隊として、災害派遣はもとより、総合防災訓練へのご参加、千歳JAL国際マラソン等への人員支援やイベントにおける機甲太鼓の演奏など、年間を通じて大規模な大会等への各種ご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

現在、政府は、緊張を極めるわが国周辺の安全保障環境に対応するため、新たな「防衛計画の大綱」の策定を進めておりますが、これまで以上に、北海道がわが国の防衛力を生み出す基盤となっていることを国に訴えていく必要があるものと考えております。

本協会は、北海道、そして当市の自衛隊の体制維持、強化の実現に向けて、関係諸団体とともに、これまで築き上げてきました第十一普通科連隊をはじめとする自衛隊との絆と連携を築きながら、隊員皆様を地域全体でサポートしてまいります。

今後におきましても、宮内連隊長を核とし、わが国及び国際社会の平和と安定のためにご尽力されますとともに、地域の発展のため、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、第十一普通科連隊の限りない発展と、隊員並びにご家族のご多幸とご健康を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

北海道自衛隊退職者
雇用協議会千歳支部長
千歳商工会議所会頭
瀧澤 順久



新年あけましておめでとうございます。第十一普通科連隊の皆様には、ご家族共々ご健勝で輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、雇用協千歳支部並びに千歳商工会議所の諸事業に對しまして、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は厳しさが続いております。

隣国との諸島領土問題及び、大量破壊兵器・核ミサイルの開発などの問題の他、特に昨年は、二度にわたる北朝鮮のミサイル実験において、早朝に北海道上空を通過し道民はいっ再び飛んでくるのか、地上に被害を被るのか、戦々恐々とした日々が続いております。

恐怖が渦巻く中、一方、我が千歳市には自衛隊、特に第十一普通科連隊の優秀な隊員が居られることは、大変心強い気持ちでござります。

隊員の皆様におかれましては、その時々において自身の安全を確保しつつ、任務を適切に果たしていただき、万全の体勢を整えていただければ幸いです。

また、自衛隊は地域経済の発展・振興にも貴重な大きな存在となっております。退職される自衛官は退官に向けて、様々な資格取得をし、再雇用先での即戦力になるべく、自助努力をされておられ、我々としても地元企業への再就職に對して引き続き支援を進めていきたいと考えております。

最後に、本年も第十一普通科連隊の益々のご発展と、隊員の皆さま並びにご家族の皆さまのご多幸を願いましてご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人隊友会
千歳地方隊友会
千歳支部長
菊地 伯



おらが街のおらが部隊！

あけましておめでとうございます。第十一普連の皆様には、ご家族ともども希望に燃えて新たな年を迎えられたことと思っております。昨年は、前年に比べれば比較的落ち着いた環境の中、じっくり練成に取り組むことができた年ではなかったかと拝察いたします。また年度途中で新たな連隊長をお迎えし、これまでの実績を踏まえつつも心機一転更なる精進化へ向けて力強く一步を踏み出された年でもありました。今後の飛躍・発展を大いに期待いたします。陸上自衛隊最大の普通科連隊としてのみならず幾多の功績を積み上げ名実ともに陸自の中で著名な地位を占める第十一普通科連隊を隊員に誇りに感じ、千歳市民にとり、まさに誇りであり、十一普連の功績はそのまます。千歳市民の喜びであり自慢であります。

また、よそを眺めれば一個普連が多数の市町村、場合によっては複数の県を担当しているのが当たり前の中にあつて最大規模の連隊まるまるが千歳市担当ということはそのだけ密度の濃い支援を頂けるといふことで市民にとりてはこの上ない安心であり、なお一層おらが街のおらが部隊という気持ちを持て強くなっております。陸上自衛隊の大改革がいよいよ具現化する中にあつて、おらが十一普連が実り多き一年になりますよう心からお祈りいたします。

隊友会千歳支部も、十一普連と密接に連携しつつ着実に前進してまいります。



新 年 の

公益社団法人
道央自衛隊家族会
千歳支部長
本宮 輝久



新年明けましておめでとうございます。
第十一普通科連隊の皆様にはご家族共々希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私達は第十一普通科連隊が、国土防衛を担う最精強部隊であるという認識は勿論のことですが、他方千歳市の隊区部隊として、大規模災害時における協定を始め市民の安心・安寧の要として日夜ご尽力を頂いていることに深く感謝を申し上げます。

また、JALマラソンやホルメンコーレンスキー大会、市民盆踊り、防災訓練、郷土もちつき大会他、様々な行事に積極的にご支援を頂き、市民との良好な関係の維持拡大に努められており、最も身近な心強い存在として心から敬愛申し上げます。さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、北朝鮮の核、弾道ミサイル開発の強行、中国の度重なる共同諸島への領海侵犯、ロシアの北方領土での軍事力強化など、かつてない厳しさに直面しています。これらに真正面から向き合い万全の対応をとるべく、日夜訓練に励んでいる自衛隊員の精神的、肉体的ご苦労は察してあまりありません。私達自衛隊家族会は隊員の最も身近な存在として国民の自衛隊に対する理解と協力の促進や緊急時の家族支援等、隊員が全力で任務を遂行できる下支えをするともに、昨今の募集環境の厳しさに対応し、募集への協力も積極的に行います。第十一普通科連隊の皆様におかれましては我が国唯一・最大・最強の機械化連隊である誇りを胸に、室内連隊長ご統率の下、益々発展されますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

普通科友の会
会長
斗賀山 信美



新年あけましておめでとうございます。
第十一普通科連隊の皆様には、ご家族共々輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年3月には第八師団等の普通科連隊基幹が一六式機動戦闘車等で再編された即応機動連隊に改編される予定です。統合機動防衛力の整備の一貫であるとともに第二の機械科連隊が誕生すると言っても過言ではないと思います。

第十一普通科連隊は陸自の機械科連隊の先駆けとして、順次新(改)編される即応機動連隊や水陸両用作戦部隊の目標とされ、基準抗としての役割が期待されるものと推察しますが、室内連隊長を核心に寧日なき訓練を積み重ねられ、最も強く、最も信頼される連隊として更に充実に発展されることを願っております。

普通科友の会は設立三十年という大きな節目にあたりますが、先輩の方々が心血を注いで作り上げてきた歴史と伝統を受け継ぎ、第十一普通科連隊の応援団として会勢の拡大と活動の充実に、発展を誓うものであります。

結びに第十一普通科連隊隊員の皆様にご家族共々ご健勝で幸多き一年でありますことを心から祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

広告

広告

第4普通科中隊訓練検閲



連隊は、12月1日(金)から3日(日)までの間、北海道大演習場千歳地区において第4普通科中隊訓練検閲を実施した。

前衛中隊として主力の前進を掩護する任務を受けた第4普通科中隊は、極寒の夜間行進を経て、2日朝攻撃前進を開始するや、敵警戒部隊を駆逐し、所令の時期までに防衛陣地の前縁を解明して、戦闘団主力のじ後の作戦を容易にした。

3日早朝、当初の目標奪取のため、第2普通科中隊を超越支援し、戦闘団の作戦に貢献を果たした。

第2普通科中隊訓練検閲



連隊は、12月1日(金)から3日(日)までの間、北海道大演習場千歳地区において第2普通科中隊訓練検閲を実施した。

続行中隊の任務を受けた第2普通科中隊は、夜間行進間及び集結地での敵の襲撃を退けつつ、いつでも戦闘加入できる準備を継続した。

迎えた3日早朝、主攻撃中隊となり第4普通科中隊の超越支援を受け、勇猛果敢な戦闘を行い、中隊攻撃目標を奪取し、任務を完遂した。

平成29年度連隊武道競技会(銃剣道の部)



11月17日(金)、千歳市開基記念武道館において、平成29年度武道競技会(銃剣道の部)が行われた。

抽選及び指定された選手要員達は、競技会に向け、日々練成に励んできた。特に、第2次師団集中野営間も、演習場整備と共に中隊計画で練成訓練を実施するなど、優勝を目指し鍛錬を積み重ねてきた。

競技会は、昨年あと一歩で優勝を逃し、雪辱に燃える第1普通科中隊(中隊長 小林1尉)がその底力を発揮し、見事優勝の栄冠に輝いた。悔しさを味わった分、その喜びは大きく、胴上げされる中隊長の笑顔が、全てを物語っていた。

そして、躍進を見せたのは本部管理中隊(中隊長 田原1尉)である。2位に僅差で迫る第3位の好成績を収め、中隊の勢いを見せ付けた。



▲悲願の優勝を果たし
歓喜の胴上げに笑顔
がこぼれる1中隊長

広告

広告

広告

広告

広告

戦闘射撃競技会

連隊は、10月2日(月)及び6日

(金)、下車戦闘射撃競技会を実施した。

競技会は、各普通科中隊から選抜された4個分隊、計24個分隊が参加し、トーナメント方式で実施された。

対戦毎に、中隊を上げた声援に後押し

される様に、白熱した戦闘射撃が展開さ

れ、第3普通科中隊(中隊長 三田1

尉)が優勝に輝き、トーナメント優勝は

第5普通科中隊第2小隊第2分隊(佐藤

分隊)が勝利を収めた。

下車戦闘射撃競技会に引き続き10月19日

(木)20日(金)の両日、乗車戦闘射撃競

技会が実施され、1・3・5中隊による、装甲戦闘車(FV)の

部と、2・4・6中隊による、装甲人員輸送車(APC)の部と

に分かれ、同じくトーナメント方式により各中隊の射撃能力を競

い合った。

FVの部は、第5普通科中隊第1小隊第2分隊(山本分隊)が

分隊優勝し、第5普通科中隊(中隊長 安達3佐)が中隊優勝と

なった。APCの部は第2普通科中隊第1小隊第1分隊(佐藤分

隊)が分隊優勝し、第2普通科中隊(中隊長 川瀬3佐)が中隊

優勝した。

両競技会を通じた総合優勝は、第2普通科中隊が、その射撃能力を如何なく発揮し、優勝の栄冠を掴み取った。



▲ FVの部 優勝分隊
第5普通科中隊1小隊2分隊
山本分隊



▲ APCの部 優勝分隊
第2普通科中隊1小隊1分隊
佐藤分隊



▲ 戦闘射撃総合優勝中隊
第2普通科中隊



▲ 下車の部 優勝中隊
第3普通科中隊



▲ 下車の部 優勝分隊
第5普通科中隊
2小隊2分隊 佐藤分隊

平成29年度総合戦闘射撃



連隊は、12月12日(火)北海道大演習場島松地区において、平成29年度総合戦闘射撃を実施した。

前日には、季節はずれの冷たい雨が降りしきる中、実射及び非実射予行を実施して万全の態勢を整え、迎えた本番当日は、対機甲戦闘から下車戦闘による残存兵への圧迫、目標奪取までの、一連の総合戦闘射撃に加え、負傷者の後送など、実戦を想定した訓練を行い、各級指揮官の射撃指揮能力及び戦闘射撃能力、併せて隊員の基礎動作の向上を図った。



広告

広告

広告

平成29年度 千歳市総合防災訓練

連隊は、11月21日(火)支笏湖周辺で実施された、千歳市総合防災訓練に本部管理中隊(中隊長 田原1尉)、第4普通科中隊(中隊長 加藤1尉)及び第6普通科中隊(中隊長 高正1尉)が参加した。

被災者役の隊員らを各被災地から、装甲人員輸送車により各ポイントまで搬送し、自衛隊及び民間救急車へと引き継ぎ、医療機関へと後送するまでの一連の行動を演練した。

樽前山噴火を想定し、実際的な行動を実施した本訓練により、災害対処能力の向上と、関係部内外機関との連携の強化が図られた。



協同基地警備訓練

11月10日(金)と11日(土)、第6普通科中隊は航空自衛隊千歳基地及び航空自衛隊長沼分屯基地で実施された、協同基地警備訓練に参加した。

10日から11日午前中にかけて、各種調整会議、仮設敵の運用要領・現地偵察や、不審者への誰何要領、捕獲要領等を演練し、11日午後からは、それぞれの基地等を襲撃するゲリラからの警備要領を実動により演練した。

警備訓練当日は日没後の状況再興直後から、台風接近による天候悪化で、雨風共に強まる最悪な環境を克服し、隊員らは重要防護施設の警護にあたり、基地警備の即応性・実効性の向上を図った。



平成29年度師団第2次集中野営

11月1日(水)から11月9日(木)の間、平成29年度師団第2次集中野営が行われ、連隊は、「万事作戦を基準」として、更なる道場化に寄与すべく、各中隊長を核心として隊務の総合一体化を図り、それぞれの担任地域の整備を行った。

各中隊は、秋季演習場定期整備という任務と並行し、検閲や銃剣道競技会へ向けた練成訓練を実施するとともに、集中野営という特性を活用し、夜間は天幕における服務指導や野宴を行い、団結の強化を図るなど、職務遂行能力及び部隊行動の練度向上に努めた。

5日に行われた連隊団結会では、師団長、幕僚長及び師団最先任上級曹長が激励に訪れられた中、中隊有志による催し物が披露されたほか、本部管理中隊は飯盒炊飯競技会を実施するなど、晩秋の夜空に、賑やかな笑い声が響き渡った。

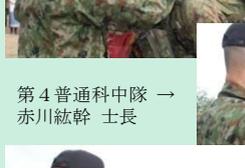


← 第2普通科中隊 成田信弥 3曹



第3普通科中隊 → 東城健一郎 3曹

← 第4普通科中隊 西沼貴典 3曹



第4普通科中隊 → 赤川絃幹 士長

← 重迫撃砲中隊 梅津敬太 3曹



第37期レンジャー養成教育帰還行事
10月15日(日)、駐屯地ヘリポートにおいて、第37期レンジャー養成教育修了に伴う、帰還行事が執り行われた。帰還行事では、連隊長から一人一人にレンジャーき章が授与され、隊員らは、感慨深げに、そして力強く「ありがとうございます！と応え、その重みを確かめていた。じ後の部隊交流では、各中隊が用意したケーキなどで熱的な歓迎を受けた他、隊友会からはメロンが振る舞われ、隊員らは久しぶりの御馳走を夢中で頬張っていた。晴れてレンジャー隊員となった彼らの、今後の活躍に期待する。

広告

連 隊 年 末 行 事



連隊は、12月22日(金)駐屯地西体育館において、連隊年末行事を実施した。

千歳市長山口幸太郎様、急遽出席頂いた衆議院議員和田義明様、道議会議員梅尾要一様並びに太田憲之様に来賓のご挨拶を頂き、開催された本年の年末行事は、千歳機甲太鼓の演奏や大抽選会のほか、子供餅つきや「天のびろく」の焼き餃子販売など、各種催し物が行われ、隊員と隊員家族の今年の労を労うとともに、相互の親睦が深められた。



平成29年度 11旅団普通科戦闘射撃競技会



連隊は、11月20日(月)北海道大演習場島松地区において、第11旅団が実施する、平成29年度普通科戦闘射撃競技会に、重迫撃砲中隊長 金丸1尉以下24名、車両7両で参加した。

11旅団長が視察される中、オープン参加した第2小隊(小隊長 佐々木2尉)は、陣地進入からの各種砲弾射撃等、一連の射撃を実施し、射撃能力の向上、隊員の士気高揚及び団結の強化が図られた。



定期昇任

平成30年1月1日付

《幹部》

一等陸尉へ

- (4普中) 鈴木 幸弘
- (5普中) 芝 淳一郎
- (重迫中) 佐々木兼吾

二等陸尉へ

- (本管中) 星 博文
- (6普中) 山根 崇

《准・曹》

准陸尉へ

- (1普中) 渡邊 欣浩
- (2普中) 齋藤 岩男

陸曹長へ

- (本管中) 戸井田正巳
- (重迫中) 濱野 祐一
- (同) 馬場 正人

一等陸曹へ

- (本管中) 松藤 和彦
- (1普中) 田口 亮
- (4普中) 小野 英司
- (同) 川村 岳志
- (5普中) 北川原直樹
- (6普中) 伊藤 利之
- (重迫中) 長崎 徹郎

二等陸曹へ

- (本管中) 松田 尚仁
- (同) 二反田 俊
- (同) 山西 大樹
- (1普中) 奥野 亮
- (同) 梯 真彦
- (2普中) 横田 章夫
- (3普中) 石水 惇
- (同) 南田 浩光

三等陸曹へ

- (3普中) 鎌倉 健
- (4普中) 石澤 悟
- (同) 成田 和弥
- (5普中) 伊藤 勇史
- (同) 前園 彰吾
- (同) 若崎 大志
- (同) 相茶 直幸
- (6普中) 木村 敬士
- (重迫中) 金原 晃

- (本管中) 岡部 佑
- (同) 吉田 拳斗
- (同) 刈和野賢士郎
- (同) 宮原 祥太
- (2普中) 中村 佑輔
- (3普中) 池田 圭佑
- (同) 澤田 亘毅
- (同) 関澤 佑太
- (4普中) 福岡 直道
- (5普中) 濱名 広彰
- (同) 山内 裕斗
- (6普中) 平塚 慎吾
- (同) 喜多 悠太
- (重迫中) 大川 陸
- (同) 山地 将史
- (同) 前田 上総



定 年 退 官 者 紹 介

永年の勤務ご苦労様でした！更なるご活躍を祈願致します！



3尉 中村 明生
(平成29年12月3日付)



3尉 大垣 章二朗
(平成29年10月3日付)



曹長 中川 哲
(平成29年12月16日付)



1曹 水上 斉
(平成29年11月16日付)

広告

広告

千歳機甲太鼓 創部30周年記念祝賀会



▲オープニング「烈風太鼓」

平成29年11月18日(土)、市内のホテルにおいて、千歳機甲太鼓創部30周年記念祝賀会が、関係諸団体から多数のご参加を頂き、千歳機甲太鼓協賛会の主催により盛大に執り行われた。

千歳市における各種イベントや部内外行事等で活動を続け、そのバチ捌きで多くの視聴者を魅了してきた千歳機甲太鼓は、昭和62年11月、当時の師団長源川氏及び連隊長新井氏、並びに初代千歳機甲太鼓協賛会会長園田氏のご尽力により、隊員の士気高揚と広報活動の一環として発足して以来、一つ一つの演奏に魂を込め、実績を積み重ね、30年という大きな節目を迎えた。

祝賀会は、「烈風太鼓」のオープニング演奏で幕を開け、千歳市長山口幸太郎様、衆議院議員和田義明様、第7師団長小野塚貴之陸将から来賓祝辞を頂き、終始和やかな雰囲気で行われた。

来場頂いた皆様への感謝の気持ちと、日頃の練成成果をご覧頂く為、祝宴のメインイベントである太鼓演奏が行われ、この日のお披露目を目指し作曲された新曲「花火」が初披露されると、盛大な拍手と歓声が沸き起こり、会場を包み込んでいた。

閉会の折、ご来場頂いた皆様からの暖かい万歳三唱をその身に受けたメンバー一同は、気持ちを引き締め、視聴して頂く観客の皆様にも、より良い演奏をお届けする為、更なる演練を誓った。

NET99へのお申し込みは
TEL.011-572-9900(受付0900~2200)
 メール:net99@mbr.nifty.com
 ※直接相談員へどうぞ
11普連OB 後藤 幸夫



第11普通科連隊ホームページ

連隊ホームページ

検索

**パソコン・スマホで
11連隊の事が分かる！
上の画面が目印！**

**『第11普通科連隊
ホームページ』
へアクセス！
※ 逐次更新中！！**



▲初披露された新曲「花火」



▲12月16日に定年退官！！
現役最後の演奏に魂を込める
本部管理中隊 中川哲曹長



▲会場の皆様からの万歳三唱を受け、気持ちを引き締める
機甲太鼓メンバー



▲▼各大会で訓練成果を発揮する11普通科連隊拳法訓練隊



2017日本拳法全道団体選手権大会 4連覇 第16回北海道自衛隊拳法選手権大会 準優勝

第11普通科連隊拳法訓練隊は11月12日(日)札幌市中島体育センターで実施された、2017日本拳法全道団体選手権大会において、11普連Aチーム(代表:重迫中隊・松本幸治、大将:1中隊・境出雄太、副将:6中隊・高橋正悦、中堅:5中隊・前田祐斗、次鋒:2中隊・松山経法、先鋒:重迫中隊・森翔弥、補欠:4中隊・藤田陽平)が、全道から集った猛者たちとの激戦を制し、見事優勝の栄冠に輝き、同大会史上初となる4連覇という快挙を成し遂げた。

引き続き、11月25日(土)26日(日)に東千歳駐屯地西体育館で行われた第16回北海道自衛隊拳法選手権大会では、大会6連覇こそ逃したものの、準優勝の好成績を収め、安定した強さを見せた。

普通科友の会 パークゴルフ大会

10月21日(土)、秋晴れの空の下、普通科友の会主催による、パークゴルフ大会が、開催された。

大会には、連隊隊員やその家族と普通科友の会の会員を合わせ、約60名余りが参加し、プレーを楽しむと同時に、大会を通じて双方の親睦を深めた。

大会は滞りなく進行し、成績上位者には賞品が贈られた他、参加者全員に白菜や玉ねぎが参加賞として手渡された。



「花」を題材にした歌が多く配信されていますよね。中孝介さんの「花」は、最近ではNONOさんの「花を咲かせよう」、向かって咲く花」などの「いま、太陽に向かっている花」など。人それぞれが持つ信念や個性などを、花に例えて歌う歌詞は、聴く人の心に働きかけ、勇気や希望を与えてくれます。花に例えて、今年も心を豊かに過ごしたいものを

担当者 山川